

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム モン・サン井手園
(ユニット名)	モン・サン井手園 IV(5階)
所在地 (県・市町村名)	長崎県西彼杵郡時津町元村郷897
記入者名 (管理者)	勝田 真由美
記入日	平成 20 年 2 月 15 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホーム モン・サン井手園が掲げている運営理念、「やさしく・楽しく・元気よく」を我々のモットーとし、何においても運営理念を心掛けています。	○
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ハイッ！もちろん日々の業務の中で取り組んでおり、いつも笑顔を絶やさない素敵なホームの運営に努めています！	○
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	入居者の方々がその土地で楽しく暮らしてゆけるよう、いつも家族や地域の方々に対しても、明るく笑顔で挨拶を交わし、理念に基いた取り組みに努めています。	○
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	朝からでは、誰とでも挨拶を交わし、散歩されている近所の方々も、ホーム入口の花壇の花の生育や、ホームの建物について聞いて来られたりして、普段から交流を行っています。	○
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	もちろん、地域の一員として自治会に加入しています。近所の一斉清掃や、団地の夏祭りの加勢にも参加。私たちが毎年行っている「夏祭り」を運営する前には、自治会長と祭りの運営について相談を行ったりして、交流を行っています。	○ 年に一度、井手園屋外で開催している「グループホーム合同の夏祭り」においても、近所の方々にも参加して頂いたり、近くの敷地を心良く使わせて頂いたり、地域の方々の温かい理解と協力を得ております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>6</p> <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>ご要望があれば、ホームの見学や趣旨の説明・電話でのホームに関するお問い合わせに対して、職員も柔軟に対応が出来るように努めております。</p>	○	<p>最近では、「認知症高齢者を抱える家族の会」の皆様へ、ホームの見学と説明会を行い、モン・サン井手園が地域にどのような役割を果たしているのかを理解して頂きました。</p>
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
<p>7</p> <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>日々のケア業務において、具体的な改善が出来るように、話し合い、評価を活かしながら、取り組んでいます。</p>	○	
<p>8</p> <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>現在、運営推進会議を一度も行っておらず、早急に内容の立案・検討を行い、運営推進会議の発足までにつながる様に努めます。</p>	○	<p>運営推進会議を行う上で、評価への取り組み状況等についての話し合いを行い、そこで出た意見をサービス向上につなげて行きたいと思えます。</p>
<p>9</p> <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>昨年の夏はグループホームのお祭りを催す際、時津町役場の福祉部の職員の方より、お祭りの開会時に挨拶をして頂きました。地域にアピールできるホームとサービスの向上を目指して、更に取り組んでゆきたいと思えます。</p>	○	
<p>10</p> <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者や職員は研修会などに趣き、学習し、入居者の個々の必要性を話し合い、活用、支援しています。</p>	○	<p>職員の全てが、色々な研修会へ参加し、学ぶ事の必要性を認識できるように努めてゆきたいと思えます。</p>
<p>11</p> <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者の虐待については、ケアに携わる全ての職員が正しく認識しており、虐待に関する研修会などにも参加して、高齢者虐待への防止へ努めています。</p>	○	<p>虐待の防止の徹底については、全ての職員が認識し、毎日のケアの中で、虐待が見過ごされる事がないように注意を払い、虐待の防止に努めています。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約にあたっては、利用者や御家族へ契約書を用いて十分に説明を行い、その際に分からない事や疑問に答え、利用者や御家族の理解と納得を得られた上で、その旨の同意書を取らせて頂いております。	○	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者の方々からのご意見があれば、その場で直接お話しを伺い、改善・解決出来る意見の内容であれば直ちに対応を行う。入居者の方々本位のサービス向上提供に努めております。	○	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	御家族へは面会に来られた時に、最近のホームでの暮らしぶり・健康状態等を報告を行っています。また、定期的な病院受診で入院が必要になられた時等も、事前に電話で報告を行って了解を得ています。	○	入居者の金銭管理については、自身で管理が難しい方には御家族より必要な金額を事務所で預かり、出納帳を用いて本人様が使われたい時に必要な金額が使われております。また、御家族の面会時にその出納を明らかにして、了解を得ています。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族からの貴重なご意見・要望があれば、その場で改善・解決が出来る内容であれば柔軟に対応を行い、その意見の反映に繋げております。また、その場で解決できない問題であれば運営者である施設長へ相談し、改善に向けて取り組んでいます。	○	ホームの2階・事務所前に「意見箱」を設けており、御家族等の意見・不満・苦情を寄せて頂けるようにしております。寄せられたご意見に対しては、迅速に対応と協議を行い改善策を立案し、解決に向けた答えを導き出せるよう努力をしております。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	些細な事からでも大切な意見であり、職員の声に対しては常に聞き、運営が改善出来るように取り組んでおります。その問題に対して完全な答えを導き出すのは難しい場面もありますが、何事にも解決に向けて取り組んでおります。	○	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者の方で、例えば突発的な病院受診が必要な場合でも、その方の身体状態を把握している職員が付き添った上で、受診対応をしています。常に何らかの職員が必要な場合には、人員の確保と配置が出来るように努めております。	○	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者である施設長は、職員の異動等を行う際は、ホームのケアマネージャーや看護師らの助言等を含め、入居者の方々の心配を考慮・検討した上で、入居者へのダメージを必要最小限に抑える努力を行っています。	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホームの運営者である施設長は、管理者・職員らの実力向上を図る意味で、不定期に開催されるグループホームを対象とした研修会への参加を積極的に促し、また、社内研修として月に一回は系列の全グループホームの職員を対象とした研修会を実施しており、職員の質の向上に取り組んでいます。	○	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	モン・サン井手園はグループホーム協議会へ加入し、その研修会等における他ホームとのグループワーク参加等において、お互い違う職場同志のスタッフらで、ケアに対する意見の交換を行ったりして、サービスの質の向上に取り組んでいます。	○	グループホーム協議会の会員の交流の一環として、井手園職員らで他ホームとのスタッフ対抗でのボーリング大会にも参加し、あまり良い成績は残せなかったが、楽しいひとときを満喫しました。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	常に職員さん達の、ストレス軽減の為の工夫や環境づくりを心掛け、取り組んでいます。	○	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者である施設長は、職員さん達の状況を常に把握し、個々の能力に応じた就業ペースの配分を行い、長く働き続ける事が出来るように努めています。	○	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前に、ホームのケアマネージャーを介して本人様とご家族の面談を行い、困っている事はないか？不安な事はないか？等のヒヤリングを行い、本人様の希求されている事を十分に把握出来るように努めています。	○	また、ホームのケアマネージャーより本人様に対して、ホームはどんな所か？生活を始める上での分かり易い説明をさせて頂き、本人様の不安を解消出来るような案内役を努めさせていただきます。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	初期段階においてはケアマネージャーが、入居されてからはその階のリーダー(その階の計画作成担当者)が、本人様に対する御家族からの要望や、抱えておられる問題を伺い、御家族との信頼関係に繋がってゆくよう努力しています。	○	ホームのケアマネージャーと、そのユニットのリーダー(その階の計画作成担当者)が中心となり、本人様のホームでの生活ぶりや、こちらからの相談(本人様の生活に必要な物品の依頼や、本人様が普段訴えられている事 例:お金が心配・家族はどうしているか等)などを御家族へ相談しています。(面会時・電話などを利用)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様と御家族からの要望・情報を提供して頂き、優先度が高いサービス提供を考慮・提案・実施に至る形で、その方に必要なサービスを提供させていただきます。	○	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	まず、本人様と御家族より必要とされているホームへの要望を伺い、ホームでの生活を始める上でのケアカンファレンス及び、サービス計画書(ケアプラン)をホームのケアマネージャーが作成し、本人様・御家族が納得される内容のサービス計画書を発行・同意を得ています。	○	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	まず、私たちは入居者の方々の気持ちを最優先に考え、職員も同じ時間を一緒に過ごし、入居者の方々とお話をしたり、学んだりして、信頼関係を築く事に努めております。	○	
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	御家族からの要望を伺った上で話し合い、その方のケアの最善の方法が導き出せるようなケアを、支援するようにしております。	○	
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居者の日頃の生活の様子をお話ししたり、それに対する御家族からのお話を聞かせて頂き、本人様と御家族の関係の理解を努め、双方のより良い関係を築いてゆけるようにしています。	○	
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御家族の方々や、友人・お知り合いの方々等が、ホームへ気軽に訪問して頂けるような雰囲気作りと対応に努めております。	○	
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者一人ひとりの気持ちに合わせて、思い思いにホールへ集まりTVを見たり、雑談を交わしたり、歌を唄い踊ったりと楽しく過ごして頂けるように支援しています。	○	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	気兼ねなく、気軽に訪問していただけるよう、職員も後々の関係が続いてゆけるように、努めております。	○	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者の方々の希望や意向は、日常生活の中での会話や動作の中で、把握が出来るように努めております。	○	日常の中で、入居者の方々の意向を把握して検討しますが、それが困難な場合もあります。そんな場合には入居者の気持ちを優先して考えてゆくようにしています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報の連携により、これまでの経過等の把握に努めております。	○	生活歴や暮らし方、生活環境、サービスの利用の経過は情報の把握により、努めています。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一日の過ごし方、心身の状態などは出来る限り把握して、毎日のケアに努めております。	○	色々な面で個人差がありますが、一人ひとりの性格・癖など把握し、一日の過ごし方、心身の状態、有する力など判り、努めております。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人様、御家族より色々な意見を聞き、ケアプラン等の介護計画に役立てていき、ホームのケアマネージャーや職員とも話し合い、最善の方法で介護計画に反映し、作成してゆくように努めております。	○	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じたケアカンファレンスを行うとともに、その方に異変があったり、改善不能な場合には、介護計画の見直しをして、本人様・御家族、必要な関係者と話し合い、新たな介護計画を作成しています。	○	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録が必要な事項は、毎日の個別の記録に記入し、ケアに携わる関係者が情報を共有し、毎日のケアに活かし、介護計画の見直しにも活かしています。	○	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療機関(清水病院)との協力体制が整っており、本人様のホームでの体調面において、緊急性を要する入院・治療が必要な場合でも、24時間受け入れる態勢があります。	○	本人様の身体機能の回復・維持のリハビリテーションを期間を設けて、本人様・御家族の希望により、協力病院(清水病院)で受けて頂く事ができます。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域のボランティア学生の受け入れ、警察へのホーム周辺の防犯パトロールのお願い、消防からの消火訓練での指導、小学校からの小学生のホーム訪問の依頼等、周辺地域との関わり合いを大切にしながら、本人様のホーム生活の支援を行っています。	○	
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人様や御家族の意向や必要性に応じて、他のサービスを利用する為の支援を行うにあたっては、当ホームのケアマネジャーを介し、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と協議・検討し、他のサービス利用の活用支援に努めています。	○	本人様や御家族の相談に応じた、他のサービスの為の情報提供や、サービス利用にあたっての説明等をさせていただきます。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人様・御家族の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターへ相談を行い、協働する事に努めております。	○	
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療面では、個人々々の定期的な医療機関(眼科・皮膚科等)への病院受診での付き添いと送迎のサービス提供、また、個々の体調の変化を医師に相談出来る協力病院(清水病院)のバックアップ体制が整い、適切な医療が受けられるよう、本人様・御家族に対しても安心してホーム生活を送って頂けるように支援しております。	○	治療に時間を要する歯科の受診も、往診と治療がホームで受けられる体制が整っており、本人様・御家族の要望があれば受けて頂けるようにしております。治療・経過に関しては、御家族へその受診毎に報告をさせて頂いております。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医とのコミュニケーションを築きながら、気軽に「相談出来るようにして、入居者の方々が受診・診断・治療を受けられるように支援しています。	○	
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	ホームの看護師が入居者の方の体調を直接本人から伺い、毎日の健康管理に気を配り、必要であれば病院への医師へ電話で症状・状態の相談を行い、必要であれば受診を受けて頂く支援に努めております。	○	毎日の健康状態の変化等を、ホームの看護師は熟知しており、ケアにあたる職員も入居者の身体状態の変化を見逃さず、何か異常が見られれば逐一、ホームの看護師へ相談・報告を行っています。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	医療職との情報交換を行い、その方の症状に応じて、早期治療・早期退院へ向けての話し合いや、相談・協力を努めております。	○	認知症の方が長期に亘る入院が、認知症の進行を進めてしまう事を協力病院(清水病院)は熟知しており、ホームへの早い復帰へ向けた早期治療・早期退院に努めております。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	御家族を交えての主治医からの病状説明を行い、繰り返し話し合いを行って、全員で情報を共有しております。	○	
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	その方の「できること・できないこと」を見極めた上で、御家族の方・主治医との相談・話し合いを何度も行い、その方により良いケアの提供・支援に取り組んでいます。	○	
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	生活状況・健康状態など必要な情報を話し合い、住み替えによるダメージを防ぐ事に努めております。	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	○	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	○	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	○	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	○	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	○	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	○	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々の排泄パターンを見て、個別の排泄支援をしています。	○	
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの気持ちの沿って入浴を楽しめるように支援しています。	○	
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	その時々に応じて休息したり、眠れるように支援しています。	○	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	役割分担(食器拭き・お掃除の手伝いなど)、歌を唄ったり、時には他のユニットへ遊びに行ったり、お天気のいい日には一緒に散歩に行ったりしています。	○	
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分で管理出来るお金を、その方に力に応じて所持して頂いたり、使ったり出来るように支援をしています。	○	
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	お天気が良い日には、戸外へ散歩に出掛けて、気晴らしが出来るように支援をしています。	○	
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	四季を通してピクニックへ行ったり、買い物に行ったり、家族の支援により出掛けたりしています。	○	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者の方の希望により、支援しています。	○	
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に来て頂けるように対応し、居室でもホールでも好きな場所でお話しをして、過ごして頂いています。	○	
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については、全ての職員が理解して、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	○	身体拘束に関する研修や講演会に参加し、拘束を行わないケアの在り方を学習し、全職員へ周知するように取り組んでいます。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	自由な暮らしを支え、心理的な圧迫感をもたらさないようにしています。	○	
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	個々のプライバシーに配慮しながら、声掛けをしたり、見守りをしたり、入居者の方の様子を把握し、安全に配慮しています。	○	
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	保管場所・管理方法を明確に取り決め、状態に応じて危険を防ぐ取り組みをしています。	○	
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	緊急事態が発生した場合には、事故報告書をまとめ、事故防止の改善に努めております。	○	再発防止の取り組みに向けた話し合いを、定期的に行っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期訓練があり、応急手当の初期対応はできます。	○	職員間での応急手当の訓練を、繰り返し行っていききたいと思います。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は定期的に行われています。地域の人々の協力も得られるようにしています。	○	
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	御家族の方々には、質問されたことに関しては納得されるように説明して、入居者の方・御家族・職員とともに抑圧感なく、楽しく生活出来るようにしています。	○	
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化や異変などには常に気を配り、医療職との連携により対応しています。	○	ケアに携わる者すべてが情報を共有し、対応出来るように努める。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者一人ひとりが、医師の指示通りに服薬できるように支援し、また、症状の変化などに気を配り、確認に努めております。	○	服用忘れがないように、常に気をつけて使用している薬の目的・副作用・用法・用量を理解し、医師の指示通り確認し、服薬の支援をしています。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	バランスよく食べられるように、毎日の食事に気を配り、適度の運動をしたり、水分補給にも十分に気をつけています。	○	年齢とともに、食事摂取量と運動量の減少が見られるので、食べ物の工夫、適度な運動を心掛けて努めていくようにしています。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の歯みがきは、職員が声掛けを行い、自身で行なうように勧めております。自分自身で出来ない入居者の方には介助により支援をしています。	○	口腔内の清潔、常に気を配り日常的に支援してゆくように努めております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量には個人差があり、食べやすいように工夫し、常に水分摂取量・栄養バランスに気をつけています。また、状態や習慣に応じて食べ方の混乱や、食べこぼし等のサポートをさりげなく行っています。	○	
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	予防接種・清潔・手洗い・消毒など、感染症の予防に努め、入居者の方・職員ともに実行しています。また、冬場などの流行時期には、来訪者にも手洗い等をお願いしています。	○	
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理後の器材は消毒をその都度、毎日行っています。食材は毎日新鮮で安全なものを使用しています。	○	
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	いつでも気軽に出入りができるように、家庭の雰囲気の花などを植えたり、玄関には入居者の方の作った作品などを飾ったりしています。	○	
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の方が落ち着いて生活できるように、音の大きさや、光の強さに配慮し、居心地良く過ごせるように努めております。	○	
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールのソファーに腰掛けて雑談したり、TVを見たりと、思い思いの通り過ごせるように、居場所の工夫をしています。	○	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた生活用品を持って来られて、居心地良く安心して過ごせるように心がけております。	○	入居者の方が御家族と相談されて、その結果、職員にも相談され、居心地良く過ごせるように取り組んでいます。入居者の方にとって不快感や光(カーテンなど)がないように支援しています。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気・空調には毎日の気温、お天気の様子と入居者の方の状況に応じて配慮しています。	○	換気扇は各居室、ホールその他に設置されています。温度調節は入居者の方の状況に応じて行い、外気温との大差がないように配慮しています。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手摺り等を廊下の壁に設置し、歩行が不安定な方などは利用し、身体機能の維持訓練(立ち上がり)等を行っています。	○	各居室内にはトイレを設置し、歩行不安定な方も心配なく自立が出来る。ホール・食堂なども近くにあり、移動などもスムーズに行えるようにしています。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	コミュニケーションの面で難しい方もおられるので、理解して頂くように話しかけたり、傾聴したりして混乱・失敗を防ぎ、自立して暮らして頂けるように努力しております。	○	入居者個々の力を活かすことを日々努力し、自立の支援をしています。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダはないので、表の駐車場廻りの花壇の横に、プランターを置いて野菜を作ったりしています。(去年の秋はパプリカが育ち、入居者の方と収穫しました。)	○	希望としては畑を耕し、野菜の栽培が出来るようにしていきたいと思います。

V. サービスの成果に関する項目	
項目	最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある
	<input type="radio"/> ②数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> ③たまにある
	<input type="radio"/> ④ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
94 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> ④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

日々の健康状態の維持と、充実した毎日の生活を安心して過ごして頂く為に、全てにおけるサービス向上に努めます。